

「自分のために」と生きてきた。
今は「誰かのために」が原動力。
気づけばそれは「まちのために」になっていた。



福岡青年会議所の歴史

1950's

- 1953年2月4日 福岡JC結成
 - 7日 西日本地区大水害救済活動を展開
- 1954年 10月 福岡市へ街路樹100本を贈呈
- 1955年 11月 緑の羽運動に協賛
- 1956年 12月 松風園、若久緑園を訪問
- 1958年 3月 ライオンズクラブと共催で施設児童500名をサーカスに招待
 - 10月 第7回全国会員大会を開催
- 1959年 12月 噴水「希望の泉」(動物園前)を福岡市へ贈呈
- 1960年 2月 「社会の谷間」写真展を開催
- 1962年 9月 福岡市長等と市政を語る会を放映
- 1963年 10月 九州縦貫自動車道建設促進要望の署名活動を展開
- 1964年 12月 「福岡に寄せる期待と提言」を発表
- 1965年 2月 経済団体連絡会議を開催
- 1966年 5月 西公園埋め立て中止を市に申し入れ
- 1967年 1月 「明日の市民生活へのビジョン」と題して座談会をRKBにて放映
- 1969年 6月 市民会議「渡辺通りに緑の大歩道を」開催
- 1970年 4月 JCI福岡コンファレンス開催(参加19か国、参加者数2,300人)
- 1971年 4月 社団法人化
- 1972年 7月 「やすらぎ荘」心身障がい児(者)療育施設オープン
- 1973年 11月 釜山空港に時計塔を贈呈
- 1975年 5月 博多どんたくに初参加
- 1976年 3月 ハワイ文化経済交流使節団を派遣
- 1977年 10月 第26回全国会員大会を開催
- 1978年 4月 交通安全チビ子大会を開催
- 1979年 8月 TNC24時間チャリティマラソン番組募金運動を実施
- 1982年 4月 アジア難民慰問事業(於 香港)を開催
- 1983年 6月 北方領土返還要求リレーマラソン(福岡県庁前～宗像)を開催
- 1984年 12月 10,000人献血(於 新天町)を実施 協力:日本赤十字福岡血液センター
 - 12月 やすらぎ荘支援100万人基金活動を展開
- 1985年 8月 「福岡こども使節団」を韓国に派遣(釜山～慶州)
- 1986年 4月 中国経済視察団を派遣
- 1987年 1月 プロ野球誘致活動(リレーマラソン野球、市民大パレード、TV番組等)を展開
- 1988年 4月 三世交流ゲートボール大会を開催
 - 10月 「プロ野球球団誘致」運動が実現 新球団「福岡ダイエーホークス」が誕生
- 1989年 7月 第38回全国会員大会を開催
 - 7月 第一回「アジア太平洋こども会議・イン福岡」を開催
- 1993年 7月 Jリーグを福岡に誕生させるための署名活動を開始
- 1994年 3月 アジア太平洋ミッション「地球の風」使節団を派遣
- 1995年 1月 阪神大震災の被災地へ支援物資を輸送
 - 1月 ユニバーシアード福岡大会「ふれあい交流イベント事業」を開催
- 1996年 6月 JCスクールビジネスセミナーを開催
- 1997年 10月 医療NGOチャリティゴルフ大会を実施
- 1999年 5月 地球市民の日事業「こどもサバイバルキャンプ」を開催
- 2000年 12月 学校教育を考える討論会がテレビ放映
- 2002年 8月 ミュージカル「パーフェクトファミリー」上演
- 2003年 2月 福岡JC 50周年記念提言「よかばいふくおか」を発表
- 2004年 11月 JCI世界会議福岡大会を開催
- 2005年 3月 「元氣バイ福岡」等の福岡西方沖地震支援活動を実施
 - 10月 障がい者自立支援事業「カレー屋ひまわり」を開店
 - 10月 東九州自動車道早期実現の署名活動を実施
- 2006年 6月 オリンピック誘致活動を展開 27万人の署名を集め
 - 福岡から東京を自転車「CHA輪PIC」号に乗って申請
 - 10-11月 福岡城にちなんだオリジナル合唱曲(CD)作成の上、街頭コンサートを実施
 - 10-11月 福岡城モザイク貼り絵を市内6千名のこども達と作成、市役所壁面にて公開
 - 年4回 佐世保学園にて福岡JCメンバー講師による職業講話開催
- 2007年 9月 福岡のプロスポーツチームの選手やコーチによる市民参加型のスポーツ交流事業「We are the player 2007」を開催
 - 11月 食育をテーマにした事業「食育フェスティバル」を開催

1960's

1970's

1980's

1990's

2000's

2010's

- 2008年 7月 アジア太平洋こども会議・イン福岡 20周年記念式典、事業を開催
 - 9月 福岡JC55周年記念提言「60周年への展望」を発表
 - 11月 福岡市民参加型ミュージカル「ハッピーバースデー」上演
- 2009年 8月 (社)日本青年会議所九州地区大会「九州地区大会2009in福岡」を開催
 - 8月 福岡市のこども3,400人に対し「徳育のスマドリカムキッズ・キャンパス」を開催
 - 8月 「NAKASU JAZZ NIGHT 2009」を開催
- 2010年 10月 「アジア交流首都宣言～Fukuoka未来への提言～」を発表
 - 11月 全市民参加型都市型国際サイクルスポーツイベント「Tour de Fukuoka 2010」を開催
- 2011年 3月 「Do For Japan」等の東日本大震災支援活動を実施
 - 9月 アジアの拠点都市「FUKUOKA」を目指して、誘客推進、スポーツ、食、アート等、エンターテインメントへ向けての各事業「福岡フォーラム2011」を開催
 - 10月 「キレイ×はしる」をコンセプトにした女性限定のマラソン事業「ASIA BEAUTY MARATHON 2011」を開催
 - 11月 福岡「博多」ブランドの「食」を発信するために140店舗の飲食店参加のもと「博多どんぶり」を開催
- 2012年 8月 唐人町商店街にてこども達による職業体験事業「キッズモールFUKUOKA 2012」を開催
 - 11月 市民参加型フルマラソン「福岡マラソン」開催実現に向けた事業「福岡マラソン祭り」を開催
 - 11月 福岡伝統の食の素晴らしさを伝える事業「福岡・食・ザ・ルーツ」を開催
- 2013年 3月 福岡JC60周年記念事業「HAKATA SAKURA 2013」を開催
 - 7月 アジア太平洋こども会議・イン福岡25周年記念式典、事業を開催
 - 10月 福岡の魅力～宝～を発見、発信する事業「GLOBAL COOL FUKUOKA」を開催
 - 10月 大名地区の外壁にアートを描き、街を明るく彩る事業「DAIMYO ART ACTION 2013」を開催
 - 11月 ブライダル業界で専門職を目指す学生たちがプロデュースしたウエディングイベント「FUKUOKA HAPPY COLLECTION 2013」を開催
 - 11月 第1回福岡マラソン開催に向けて、日本最大級の総勢800人によるフラッシュモブ「RUN WITH THE WORLD～世界が憧れるマラソン大会を目指して～」を開催
 - 11月 アジアのリーダー都市FUKUOKAにふさわしいスタジアムのあり方を構想する「FUKUOKA STADIUM～スタジアムパーク構想～」発行
- 2014年 7月 親子参加型キャンプ事業「わんぱく塾」～生きている力発見プロジェクト～を開催
 - 8月 JCIビジネスアカデミーを開催
 - 絵本「ちゃぶ台ヒーロー」の無料配布、読み聞かせ会を開催
 - 11月 「FUKUOKAファミリーウォーク」を開催
 - 12月 WE ARE THE WORLD を開催
- 2015年 7月 入定寺にて「LIKEIFUKUOKAプロジェクトコンテンツ展示会」を開催
 - 9月 Fukuoka World Stadium Festival 2015を開催
 - 9月 MINATO SALONE 2015を開催
 - 10月 「天神ハロウィン」を開催
- 2016年 3月 ラグビーワールドカップ2019日本大会キャンプ地 招致活動プレスリリース
 - 5月 竹田恒泰氏 講演会「今、日本国民に伝えたいこと」を開催
 - 8月 「能古島からのプレゼント」を開催
 - 【DREAM RUGBY PROJECT 2016】体感型ラグビースポーツイベントを開催
 - 10月 じゃばにずむ2016を開催
- 2017年 6月 ミライボーサイ2017を開催
 - 7月 まっとうばい!発信PROJECTを開催
 - 8月 福岡にぎわいプロジェクトを開催
 - 10月 Art IN Hospital 2017を開催
- 2018年 7月 福岡・アジアサマーフェスティバル2018
 - 天神で真夏の雪を楽しみませんか?PROJECTを開催
 - 8月 こどもFUKUOKA未来博2018を開催
 - 9月 まちのミライズ ～HAKOZAKI CITY 1/365の日常～を開催
 - 10月 65周年記念事業「Young river fes 2018」福岡お笑いヤング選手権を開催
 - 11月 ドリームラグビーフェスティバル2018を開催
- 2019年 5月 G20YEA ネットワークハンケットを開催
 - 6月 FUKUOKAリーダーみらい塾を開催
 - 7月 FUKUOKAピースヒルスタジアム都市デザインを開催
 - 8月 ミナギルサイノウ2019を開催
 - 9月 IR がもたらす福岡の未来都市デザインを開催
 - 11月 「もしウチのママが明日から社長になったら」を開催
 - 11月 ネットリーダーズサミット in 福岡を開催



一般社団法人 福岡青年会議所について
About Junior Chamber International Fukuoka



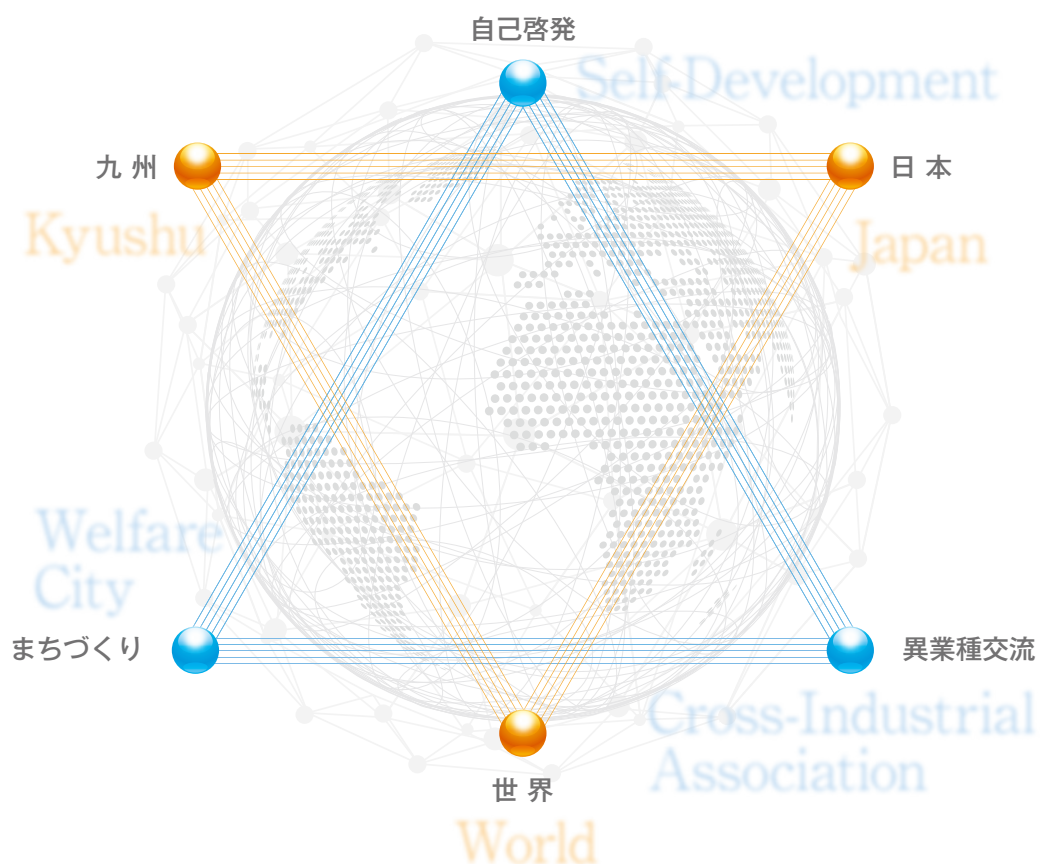
— 若きリーダーが集い 互いに力を高め合う —

福岡青年会議所とは？

よりよい福岡の「人づくり」「まちづくり」を通して“明るい豊かな社会の実現”を目指す組織です。次代のリーダーとしての責任を自覚する、20歳から40歳までの若者が集い発足から60年あまりの長きにわたり様々な活動を行ってきました。

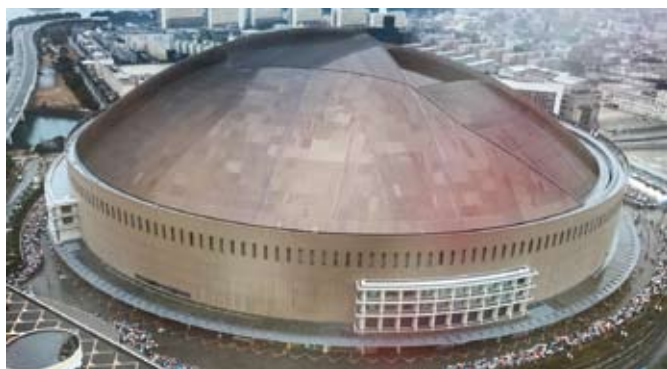
青年会議所運動とは「修練」「奉仕」「友情」という三信条のもとに率先して行動する仲間たちによって起こるものです。日本全国692の地域で約36,000人、また全世界で117ヵ国、約162,000人の青年経済人が活躍しています。(2020年1月現在)

日々の活動を通して、社会・地域をリードする立場の者同士で切磋琢磨し、地域・国内・世界で活躍できるリーダーとしての能力を磨いています。



福岡青年会議所 過去の事業

1953年に結成された福岡青年会議所では、これまで様々な事業を行ってきました。
数多くの事業の中から、一部をご紹介します。



プロ野球誘致活動

西鉄ライオンズの移転により失われた活気を取り戻そうと、福岡JCが率先して1987年にスタートしたプロ野球誘致活動。署名運動やテレビ番組でのPR活動を通して福岡市民の想いを伝え続けたことが実を結び、福岡の地にホークスが誕生しました。その後も優勝祝賀パレードの警備などでも関わりをもち続けています。



アジア太平洋子ども会議 イン福岡

アジア各国の子どもたちが言葉や文化の壁を越えて交流し、国際人への道を開く「アジア太平洋子ども会議」。この巨大イベントも1989年に福岡JCがスタートさせたもの。参加した子どもたちの多くが現在、世界中で活躍しています。



NAKASU JAZZ

2009年、中洲の活性化を願い、福岡JCが想像したプロジェクト。世界中から有名アーティストが結集、国内外から多くの人が集まる音楽イベントです。現在は実行委員会を主軸とし、福岡JCも結束して支援を行っています。



FUKUOKAにぎわいプロジェクト

2017年、福岡市民に地域の歴史を知っていただくことを目的に100枚の巨大パネルを使って舞鶴公園に福岡城を再現しました。天守閣のみならず城下町も再現したこのイベントには約15,000人ももの来場者が訪れ2日間限定の福岡城を楽しみました。



こどもFUKUOKA未来博

こどもたちの夢を応援するため、2018年の夏休みに「こどもFUKUOKA未来博～福岡のまちから科学者を～」と銘打った事業を、国際センターにて2日間開催しました。学べて、遊べて、科学を体験・体感できる50のコンテンツブースや最新の科学実験ショーなどを通じて、こどもたちに未来を感じてもらえました。



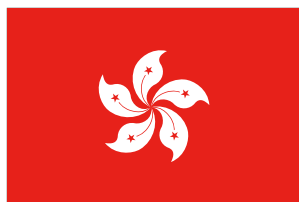
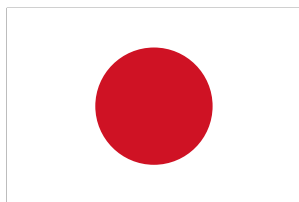
G20YEA福岡サミット ネットワークバンケット

2019年に日本初となるG20YEA（ヤング・アントレプレナーズ・アライアンス）をこの福岡で開催。世界主要20カ国の青年企業家育成団体の集まりで、世界中の若手企業家を育成していくためにはどのような取り組みが必要であるかを議論・決議し、その内容をG20の本会議および各国政府・関係機関へ提言しました。

団体の国際交流

International exchange of groups

姉妹青年会議所（シスターJC）



姉妹JCとは、青年会議所に加盟している二つ以上の会員会議所相互間の姉妹関係をいいます。国際青年会議所（JCI）の信条に則り、経済、文化等に関する交流を行うことによって、会員相互の理解と友情を深め、更に地域社会の産業、文化、教育の発展に対して国際的視野にたった両国間の親善と友好を深めることです。

福岡JCは、釜山JC（韓国）、下関JC、城市JC（香港）、サウスサイゴンJC（JCIベトナム）と姉妹関係を結んでいます。

福岡JC、釜山JC、下関JCは、1965年4月20日に3団体が同時に姉妹関係を締結しており、トリオJCという名で呼ばれています。トリオJCは毎年交流を深めるレクリエーションなどを開催しております。

主な福岡JCの出身者

Major celebrities from Fukuoka JC.

福岡青年会議所を卒業され、多分野で先輩が活躍中です。

現役メンバーと先輩との交流も多く、たくさんの事を勉強させていただいております。

政治

- 山崎 拓（元衆議院議員 自民党元副総裁）
- 太田 誠一（元衆議院議員 元国務大臣）
- 松山 政司（参議院議員 元内閣府特命担当大臣）
- 井上 貴博（衆議院議員 財務大臣政務官）
- 鬼木 誠（衆議院議員 元環境大臣政務官）

鉄道・マスコミ・金融

- 上中 哲次（元 西日本鉄道株式会社 取締役執行役員）
- 小林 幹雄（RKB毎日放送株式会社 執行役員テレビ営業局長）
- 森 君夫（九州朝日放送株式会社 取締役）
- 加藤 邦忠（九州旅客鉄道株式会社 鹿児島中央駅駅長）

製造・流通・飲食

- 真鍋 博俊（株式会社博運社 代表取締役会長）
- 小林 専司（福岡ロジテム株式会社 代表取締役）
- 河津 善博（トリゼンフーズ株式会社 代表取締役会長）
- 石蔵 利正（石蔵酒造株式会社 代表取締役）
- 中岡 生公（株式会社鈴懸 代表取締役）
- 富永 太郎（福岡倉庫株式会社 代表取締役）
- 原田 浩司（千鳥饅頭総本舗株式会社 代表取締役）

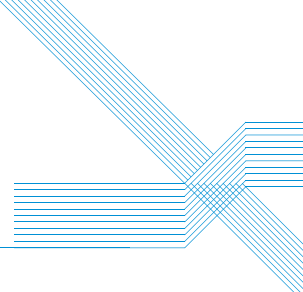
建設・不動産

- 榎本 一彦（福岡地所株式会社 代表取締役会長）
- 榎本 正弘（株式会社榎本興産 代表取締役会長）
- 安田 進（安田建物管理株式会社 代表取締役）
- 井川 英治（株式会社オー・エイチ・アイ 代表取締役社長）
- 菅原 正道（株式会社未来図建設 代表取締役）
- 中田 泰平（クリアプランニング株式会社 代表取締役社長）
- 百田善太郎（株式会社百田工務店 代表取締役）

※上記役職は、2020年1月現在

「趣味の会」

Club activities



福岡JCでは「趣味の会」で 現役メンバー同士のみならず先輩方とも交流を深めています。

● 福岡JCじゃがいもクラブ(ゴルフ)



● 福岡JCぼうふら会(麻雀)



● 福岡JC迷球会(野球)



● 福岡JCノーサイドクラブ(ラグビー)



● FJC. PONZ(サッカー)



● 福岡JC茶道同好会(茶道)



福岡JCへの入会をご希望の方へ

入会までの流れ

Step 1 入会申込み

必要書類を提出します。

Step 2 面接

4月、8月、12月に実施。
推薦者同席の上、
面接が実施されます。



Step 3 理事会審議

理事会にて仮入会を審議。
承認後、仮入会費30,000円
を納入します。



Step 4 仮入会

仮入会期間は4ヶ月。

- ・オリエンテーション(3回)
- ・例会出席(3回)
- ・委員会出席(6回)
- ・理事会傍聴(1回)

 上記の項目と回数を必ず
履行してください。



Step 5 理事会審議

理事会にて仮入会期間の行動
をチェックし、正式入会を審議。
承認後、

- ・入会金 100,000円、
- ・年会費 160,000円を

 納入します。(※1月入会の場合)

※5月・9月入会の場合の年会費は、
年額の月割りの会費となります。



Step 6 正式入会

晴れて、正会員です。
例会にてJCバッジの
授与式があります。



Step 7 委員会配属

各委員会に正式メンバーとして
配属されます。



Q & A

Q. 何をするための団体なのですか？

A. JC (=青年会議所)は、“明るい豊かな社会”の実現を目的とする、一般社団法人として認可された団体です。福岡JCは、福岡市とその近郊のまちのため、そこに住む人のためになることをメンバー同士で考え、様々な運動を行います。

Q. いつ集まっているのですか？

A. 現役メンバーが全員集まる「例会」と、委員会に所属するメンバーごとに集まる「委員会」が毎月1回ずつ開かれており、この2つが基本的な活動となります。事業の進捗等が「委員会」で話し合わせ、それについて「例会」で全メンバーに報告される、というイメージです。「例会」も「委員会」も、比較的工作や家庭に影響の少ない平日夕方に開催されています。

Q. 入会したら何をするのですか？

A. 委員会ごとに毎年様々な事業が行われていて、基本的に自分で選んだ委員会に所属することができます。単年度制のため、毎年自分のやりたいことを選択できるのです。福岡JCでは「まちのため、人のため」になる様々な事業が毎年考案されていて、福岡県や福岡市など公的機関とも連携しています。

Q. お金はいくらかかりますか？

A. 入会費として10万円、年会費として16万円が毎年必要です。また入会前に「仮入会」という形で4か月間の研修を受けていただきますが、この研修の費用として3万円の「仮入会費」が必要です。

Q. 入会に条件はありますか？

A. 福岡市、糟屋郡または古賀市に、住居もしくは職場がある方で、且つ正式入会時に21歳以上37歳未満であることが条件です。40歳になった年の12月に卒業となります。
※学生の入会は不可です。

先輩からのメッセージ



株式会社久原本家グループ本社
代表取締役社長 河邊 哲司 氏

私が福岡JCに入会したのは27歳の時。当時は厳しい先輩も多く入会当初は「河邊一、あれやっというー」「これやっというー」というお願いに目まぐるしく対応する日々でした。仕事との両立にも苦しんで逃げ出そうかと思ったこともありましたが、とにかく「ノーではなくイエスから入ろう」と決めてがむしゃらに活動したことが、後の私の人生を大きく変えてくれました。

家庭は最優先。もちろん仕事も大事。そんなただでさえ忙しい20代・30代の時間を使い、地元・福岡のまちのために本気で取り組む。こんな経験をした仲間は一生の友となり本音で語り合える親友となります。私の場合他にも多くの団体に所属していましたがJCで出会った仲間が今でも一番深く関わっています。

JCは人を成長させる「器」です。ただ入会すればいいということではなく、まちのために仲間のために一生懸命活動に取り組むことが何よりも大事で、その姿は必ず誰かが見てくれています。数多くのメンバーを見てきましたがJCでの生き様によって後の人生が決まってしまうと私は思っています。40歳を迎えてJCを卒業した後真摯に活動に取り組んだ人は「幅広い人脈」と「大きく成長した自分」「周りからの信用」を手に入れることができ、自ずと仕事も伸びていきます。やったもん勝ち。JCメンバーでいられる限られた時間をぜひ有効に使ってください。

現役メンバーからのメッセージ



株式会社 ひよ子
常務取締役
石坂 泰三

2019年、福岡の未来を担うべき学生たちと共に、香港でプレゼンテーションなどを行う事業を実施しました。苦勞も多かったですが、仲間と共にやり遂げられたことを誇りに思います。私の父親も若いころ福岡JCに入っており、そのころの話を聞いてきましたが、JCでの出会いは卒業後もずっと続いていました。活動を通じてできた絆や思い出がそこにはたくさんあったのでしょう。

正直に言うと、会社では行わない辛い雑務をJCでたくさん経験しましたが、それは理事となった今、メンバーを引っ張っていくために必要なものだったのだと感じています。この経験は、経営者として仕事をする上で活かされています。会社の後継者である私は、JCで同じ境遇の仲間と出会い、誰にも相談できない悩みも話せるようになりました。また、いずれ一緒に仕事をするであろう仲間もできました。40歳までの短い期間と思えば、一生懸命活動ができると思います。しかし、JC活動を行えるのは、会社の支え、家族の支えがあるということ忘れてはダメなのだと思います。



日本紙料 有限会社
取締役
有光 麻美

入会すると委員会に配属され1年間同じメンバーで活動するため、時には意見のぶつかり合いもありますが、絆が深まり一生の友になる方もいます。

福岡JCは女性メンバーの割合がおおよそ1割前後ですが、少人数であるからこそ女性同士は仲良くなりやすいと思います。女性にしかできないことも多く、様々なチャンスに恵まれ活躍しやすい環境があります。

JCに入会することで仕事やプライベートの時間に不安を感じる方もいるかもしれませんが、出席義務は月2回ですので、どこまで活動するかは自身で調整できます。時と場合によって優先するものをしっかり見極めながら活動することが重要だと考えています。また、JC活動には人との心の通わせ方や目標達成までのプロセス、会議の進め方など家庭にも仕事にも持ち帰ることができる学びで溢れていますので、学びを自分だけで受け止めるだけではなく周りにしっかりと還元することでプライベートや仕事にも良い影響が生まれてくると思います。



株式会社 茶匠ヴァロン
代表取締役
鍋山 健吾

私には、仕事や家庭よりJC活動を優先していた時期があります。JCを続けることが正解なのだろうか……。徐々にそう思い始めていました。そんなある日、福岡JCの事業に娘を連れて参加しました。その時、事業を楽しむ娘を見て、改めてまちの未来のためになる活動を行っているんだと気付かされました。また、私たちがまちの人たちに感謝される姿を見て、娘が誇らしげであった姿が印象的で、今も目に焼き付いています。今ではバランスを取りながら活動することが出来ています。

JCの魅力はいろいろな人とのご縁です。JCでは九州、日本、世界の人たちと繋がることができ、唯一無二のビジネスパートナーに出会う可能性があります。私は日本JCに出向し、ビジネスチャンスを頂きました。JCはビジネスが主体という団体ではありませんが、信用できる仲間だからこそ任せられる仕事も確実に存在します。

JCでの出会いや経験は、自分の人生に大きく変化をもたらしてくれます。私たちと一緒にJC活動してみませんか？



九州朝日放送 株式会社
社員
坂谷 和樹

福岡JCに入会すると、同期入会者と共に1つの事業を行います。2019年1月に入会した私は、児童養護施設の子供たちと花を植え、「G20YEA サミット」を機に海外の方たちの往来が増える期間に、JR博多駅をその花々で彩るという事業を実施しました。

事業を構築し、関係各所に足を運び、夜中に集まって準備する……。この事業を通じて本気で共に悩み苦しんだ23人の同期は間違いなく私の一生の友人となることでしょう。

「サラリーマンなのにJCしてる時間あるんですか?」という質問をよく受けますが、基本的に活動は平日夜なので問題ありません。私の勤める会社では約20年に渡って福岡JCにメンバーを輩出し続けています。少し無理をしなければならぬことも時にはありますが、私の会社のJCのOBたちは口を揃えてこう言います。「40歳になって卒業する時には人間として一回りも二回りも大きくなっくん!」

この組織にはあなたを成長させてくれるメンバーがきっと大勢います。



〒812-0021 福岡市博多区築港本町13-6 ベイサイドプレイス博多C棟3F
TEL:092-263-6333 FAX:092-263-6334 E-Mail fjc@bekkoame.ne.jp
<http://www.fukuoka-jc.or.jp>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

青年会議所はSDGsを推奨しています

Junior Chamber International Fukuoka



Junior Chamber International Fukuoka
一般社団法人 福岡青年会議所

〒812-0021 福岡市博多区築港本町13-6 ベイサイドブレイス博多C棟3F
TEL:092-263-6333 FAX:092-263-6334 E-Mail fjc@bekkoame.ne.jp
<http://www.fukuoka-jc.or.jp>

